

# 豊田景気実感調査



Viewing over Our Toyota's Economic Condition

第7号

発行日 2014.12.3

## 平成26年11月調査結果 “景気実感総じて後退、景気回復の期待感先送り”

<調査にご協力頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます。>

本調査は、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協同して半年に1回(5月/11月)、豊田市に居住もしくは勤務されている個人の方を対象に、身の周りの景気について、その実感を聞く調査です。内閣府「景気ウォッチャー調査」(街角景気)に準じて実施し、その直近10月調査の全国と東海地区の結果と比較し、とりまとめました。

尚、本調査と別に特別調査として、前回に続き、豊田市の消費意欲と幸福度も併せて調査しました。

### 『調査概要』

調査期間：平成26年11月1日～21日  
 調査モニター数：300名  
 有効回答客数：230名 **有効回答率：76.7%**

### 『景気実感調査事項』 (DI指数)

- ・2～3ヶ月前から現在までの景気の変化をどう感じますか？ ⇒ (現状判断DI)
- ・今から2～3ヶ月後までの景気の推移をどう予想していますか？ ⇒ (先行き判断DI)
- ・今現在の景気の水準判断はどうですか？ ⇒ (水準判断DI)

### 『DIの算出方法』

評価段階		5	4	3	2	1
評価	現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
	水準判断	良い	やや良い	どちらでも	やや悪い	悪い
付与点数		1	0.75	0.5	0.25	0

5段階評価での回答数集計→評価別回答数の構成割合(100%)を算出→構成割合に上記の付与点数を掛けて合計値を算出=D I値です。D Iは“景気の動きに対する評価への投票”とも言えます。

### 『調査結果：豊田市の景気天気図』

	現状判断DI				先行き判断DI				水準判断DI			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	48.2	46.2	61.5	48.2	46.4	48.4	53.8	47.6	45.8	47.3	61.5	47.3
全国	42.3	46.2	50.0	44.0	45.4	48.3	50.4	46.6	38.9	46.2	54.8	42.1
東海	42.3	—	—	44.5	43.0	—	—	45.5	39.2	—	—	43.7

【天気図の見方】 大きな晴れ：DI 60点以上/晴れ：DI 50～60点未満/曇：DI 40～50点未満/雨：DI 40点未満

### 『平成26年11月調査の総括』

前回調査時(26年3月)に比べ、総合DI指数は、現状・水準判断において後退の一方、先行き判断は僅かに上昇した。総合判断DI指数値も、いずれも横這いを示す50に届かず、本格的な景気回復期待感が先送りされる形となった。もっとも、総合DI指数値はいずれも全国・東海を上回る50近傍値を保持し後退幅、上昇幅とも比較的小幅なものに止まるなど、振れの小さな、落ち着いた姿となった。

いずれにしても、今回の調査結果は、豊田においても、消費税増税や円安等に伴う物価上昇といった家計・事業活動面への直接的負担増、人材確保の克服など、経済の好循環実現への課題が残った印象を窺わせるものである。

現状判断総合DIは「48.2」 ～全業種において悪化！も、雇用が下支え～

(1) 景気天気図 (前回調査との比較)

【平成26年3月：前回調査】

【平成26年11月：今回調査】

	現状判断DI			
	家計	企業	雇用	総合
豊田	55.8	58.7	67.5	57.6
全国	57.0	58.4	62.8	57.9
東海	55.7	—	—	57.0

豊田は総合で、前回調査比-9.4pと大幅に悪化しましたが、全国・東海と対比すると、その下落幅は小さいものでした。

中でも雇用関連(61.5p)は全国を大きく上回っており、雇用関連の下支え、雇用環境が優位な地域である様子が窺えます。

	現状判断DI			
	家計	企業	雇用	総合
豊田	48.2	46.2	61.5	48.2
全国	42.3	46.2	50.0	44.0
東海	42.3	—	—	44.5

(2) 回答別構成

構成比		良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI
本調査	豊田	1.7	16.5	58.7	18.7	4.4	48.2
内閣府	全国	0.9	13.3	52.2	27.9	5.7	44.0
	東海	1.8	11.9	52.9	29.5	4.0	44.5

(3) 業種別比較 (※DIが50以上に網掛け表示)

業種	豊田市 (A)	全国 (B)	(A) - (B)	東海 (C)	(A) - (C)
家計動向関連	48.2	42.3	+5.9	42.3	+5.9
小売関連	47.0	41.1	+5.9	—	—
飲食関連	39.3	37.8	+1.5	—	—
サービス関連	54.1	45.8	+8.3	—	—
住宅関連	42.5	42.6	▲0.1	—	—
企業動向関連	46.2	46.2	+0.0	—	—
製造業	44.1	45.3	▲1.2	—	—
非製造業	52.1	46.8	+5.3	—	—
雇用関連	61.5	50.0	+11.5	—	—
合計	48.2	44.0	+4.2	44.5	+3.7

(4) コメント紹介

+：回復感あり -：回復感なし

- + ホテル客室稼働が好調で、豊田市への宿泊を伴う需要が増えていると実感している。(都市型ホテル従業員)
- 新規購入の代わりに、修理依頼が異常に多い。(商店街代表者)
- 価格見直し改定に対し原価低減が追い付かない。厳しい見積もり競争で利益確保まで実現しない。(輸送用機械従業員)
- 2次、3次メーカーは人材が確保出来ない。投資の遅れ、受注減など問題が大きく、景気が良いとは言えない。(輸送用機械従業員)

先行き判断総合DIは「47.6」 ～先行き回復期待感は若干の改善～

(1) 景気天気図 (前回調査との比較)

【平成26年3月：前回調査】

【平成26年11月：今回調査】

	先行き判断DI			
	家計	企業	雇用	総合
豊田	46.7	43.4	52.5	45.5
全国	31.3	39.0	47.1	34.7
東海	31.5	—	—	34.6

先行き判断DIは総合で50には達しないものの、回復期待に改善が見られます。前回、全国・東海が消費税増税後の落込み予想が大きかったのに対し、豊田は、比較的冷静な判断を継続しています。また、豊田では、雇用関連で50をキープしているほか、小売関係も前回比改善が見られます。

	先行き判断DI			
	家計	企業	雇用	総合
豊田	46.4	48.4	53.8	47.6
全国	45.4	48.3	50.4	46.6
東海	43.0	—	—	45.5

(2) 回答別構成

構成比		良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI
本調査	豊田	2.2	16.1	57.4	18.7	5.7	47.6
内閣府	全国	1.5	16.4	54.7	21.5	5.8	46.6
	東海	0.9	16.3	52.9	23.8	6.2	45.5

先行き判断の続き

(3) 業種別比較 (※D Iが50以上に網掛け表示)

業種	豊田市 (A)	全国 (B)	(A) - (B)	東海 (C)	(A) - (C)
家計動向関連	46.4	45.4	+1.0	43.0	+3.4
小売関連	47.8	44.9	+2.9	—	—
飲食関連	42.9	46.4	▲3.5	—	—
サービス関連	46.5	47.0	▲0.5	—	—
住宅関連	42.5	42.0	+0.5	—	—
企業動向関連	48.4	48.3	+0.1	—	—
製造業	48.9	48.1	+0.8	—	—
非製造業	46.9	48.5	▲1.6	—	—
雇用関連	53.8	50.4	+3.4	—	—
合計	47.6	46.6	+1.0	45.5	+2.1

(4) コメント紹介

+ : 回復感あり - : 回復感なし

- + 通常は2ヵ月先の仕事を受注していたが、半年先の仕事まで引き合いがある。(電気機械器具従業員)
- + 消費税10%への増税の延期により、これ以上悪化する事はないと思われる。(家電量販店経営者)
- 日銀の金融緩和により更なる円安が進んでおり、原材料高騰が生産量や売上等にマイナスに働くとと思われる。(職業安定所職員)
- 材料費、その他経費、税金等の高騰により、感覚的だけでなく、数字でも確実に悪くなっている。(一般機械従業員)

水準判断総合D Iは「47.3」 ~前回比大幅後退。全国、東海は上回る~

(1) 景気天気図 (前回調査との比較)

【平成26年3月：前回調査】

【平成26年11月：今回調査】

	水準判断D I			
	家計	企業	雇用	総合
豊田	52.2	59.2	62.5	55.8
全国	58.0	59.9	64.7	59.1
東海	57.5	—	—	59.3

水準判断D Iは、総合で50に達しないものの、全国、東海を上回る50近傍に止まっています。  
業種別には、豊田では、住宅関連、非製造業、雇用関連が50以上をつけました。また、50には達しないものの、小売関連において、全国比改善が目立っています。

	水準判断D I			
	家計	企業	雇用	総合
豊田	45.8	47.3	61.5	47.3
全国	38.9	46.2	54.8	42.1
東海	39.2	—	—	43.7

(2) 回答別構成

構成比		良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い	D I
本調査	本調査	1.3	25.2	43.5	21.3	8.7	47.3
内閣府	全国	1.7	14.2	44.2	30.7	9.2	42.1
	東海	2.2	16.3	42.3	32.6	6.6	43.7

(3) 業種別比較 (※D Iが50以上に網掛け表示)

業種	豊田市 (A)	全国 (B)	(A) - (B)	東海 (C)	(A) - (C)
家計動向関連	45.8	38.9	+6.9	39.2	+6.6
小売関連	44.0	35.4	+8.6	—	—
飲食関連	35.7	34.5	+1.2	—	—
サービス関連	49.4	45.9	+3.5	—	—
住宅関連	55.0	44.6	+10.4	—	—
企業動向関連	47.3	46.2	+1.1	—	—
製造業	46.0	46.1	▲0.1	—	—
非製造業	51.0	46.0	+5.0	—	—
雇用関連	61.5	54.8	+6.7	—	—
合計	47.3	42.1	+5.2	43.7	+3.6

次回調査は、平成27年5月に実施いたします。

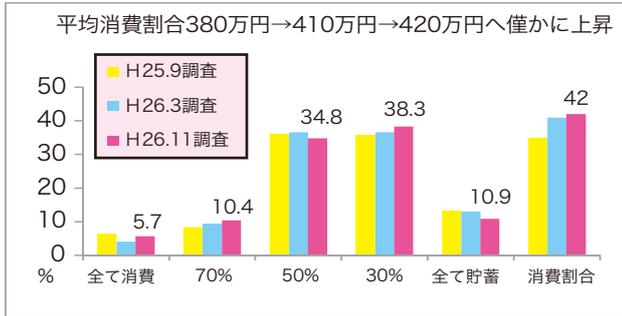
本調査に関するご意見、ご要望等ありましたら  
事務局までお問い合わせ下さい。

【事務局】

豊田商工会議所 丹羽 0565-32-4595  
豊田信用金庫 高橋 0565-36-1384

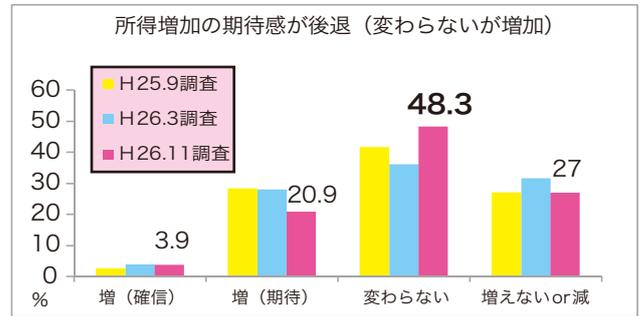
豊田市における消費動向・見通し・幸福度の調査

宝くじ1000万円が当たった場合、何%を消費に回しますか？



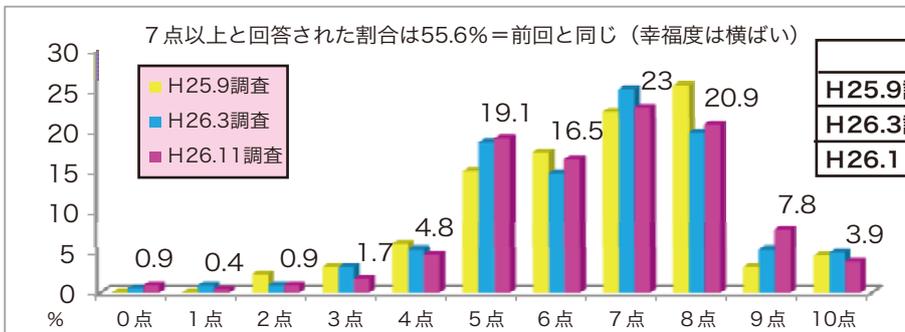
若干の消費意欲の改善が見られます。但し「全て貯蓄」の回答割合が減少しており、物価上昇に伴う支出負担増が影響し、貯蓄する余力が低下していることも一因の可能性がります。

所得は増えていくと思いますか？



所得増加を確信する声は変わりませんが、期待する割合が前回調査比7.2%下落し、変わらないと回答した割合が12.1%上昇しています。先行き景気回復期待感をそぐ背景とも推察されます。

あなたはどの程度幸せですか？ とても幸せを10点・とても不幸を0点とし幸福度を調査しました。

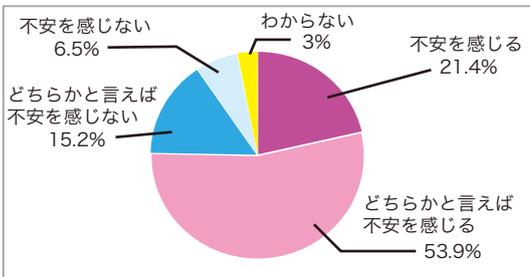


単位：%

	0点～	4点～	7点～
H25.9調査	5.5	38.5	56.0
H26.3調査	5.5	38.9	55.6
H26.11調査	4.0	40.4	55.6

幸福について「どちらともいえない」とも見なせる4～6点の割合の若干増、3点以下の若干減が見られます。下位から上位への遷移で、僅かではありますが、幸福度自体は徐々に高まっている様子が窺えます。

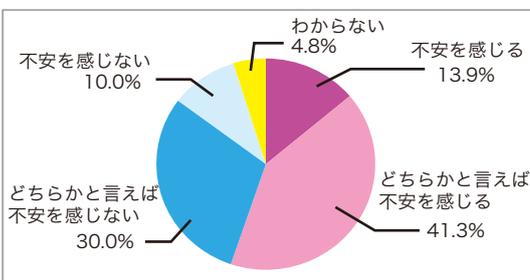
あなたはご自分の将来に不安を感じますか？ 不安を感じる場合の具体的な理由も併せて調査しました。



不安を感じる具体的な理由 ベスト5	選択割合
自分や家族の健康状態の悪化	13.1%
日本経済の停滞、衰退	12.7%
社会保障や教育などの公的サービスの水準の低下	10.9%
大地震などの大規模な自然災害の発生	10.2%
子育て、教育、相続時における負担の増加	8.7%

上記の一方で、不安感も大きなものがあります。実に3/4の方が将来について何らかの不安を抱いています。不安要因の上位5つは、左表の通りです。この解消が幸福度を高めると考えられます。

あなたは地域の将来に不安を感じますか？ 不安を感じる場合の具体的な理由も併せて調査しました。



不安を感じる具体的な理由 ベスト5	選択割合
地域を支える担い手の不足	21.1%
地域を支える産業の衰退	20.4%
商店街などの街の中心部の賑わいの喪失	19.2%
医療・介護施設の不足	13.1%
就職する機会や職業の選択肢の減少	7.3%

55.2%の方が地域の将来に何らかの不安を抱いています。単純比較はできませんが、内閣府による2014年8月全国調査では46.8%という結果が出ており、豊田はこの全国結果を上回りました。

あなたのお住まいの地域が活力を取り戻したり、更に活性化する為に、期待する政策はどのようなものですか？

期待する政策 ベスト5	選択割合
多様な世代が共に暮らせる為の福祉、医療の充実	13.8%
安心して住み続ける為の防犯、防災対策の充実	13.8%
商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上	12.6%
地域に雇用を生み出す新産業の創出	11.9%
地域が元気になる活動の中心となる人材を育成する為の教育の充実	10.0%

左表が地域活性化のために期待する政策の上位5つとなりました。これらの課題は、地域の将来の不安解消のためのものであると同時に、上記で述べた個人の不安解消とも共通していることが見て取れます。言い換えれば、「期待する政策」は、地域としての豊田だけでなく、当然のことながら、そこに勤務・居住する個人の方々の将来の幸福度の向上策でもあるということになります。